



製品安全データシート

会社名: コダック株式会社
担当部門: コンシューマー&プロフェッショナルイメージング事業部
所在地: 東京都中央区新川2 - 27 - 1 (〒104-0033)
電話番号: 03(5540)9000 FAX: 03(5540)2303

緊急連絡先: (財)日本中毒情報センター【中毒 110 番】
(事故に伴い急性中毒の恐れのある場合に限る)
9時から17時まで: 0990(52)9899 (ダイヤル Q2 有料)
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 0298(51)9999
これ以外の時間帯: 0990(50)2499 (ダイヤル Q2 有料)
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 06(6878)1232

MSDS No.20001296/F/USA/JP

承認日: 2003年01月31日

作成日: 2003年11月26日

1 製品名

コダック エクタカラー RA ブリーチ フィックス アディティブ 25 ガロン

CAT No.803683-2

25 ガロン用

2 危険・有害性の分類

該当成分 : 硫酸カリウム(10117-38-1)を含む。

警告!

誤飲すると有害になることがある。

眼に炎症を起こす。

3 物質の特定

成分	重量%	CAS No.	PRTR政令番号
水	50-55	7732-18-5	
硫酸カリウム	45-50	10117-38-1	

4 応急措置

吸入した場合 : 症状が出たら、空気の新鮮な場所に移動する。症状に応じて対処する。症状が続くならば、医療手当を受ける。

眼に入った場合 : 直ちに、水で洗い流す。症状が出たら、医療手当を受ける。

皮膚に付着した場合 : 石鹸と水で洗う。症状が出たら、医療手当を受ける。

誤飲した場合 : コップ1~2杯の水を飲み、内科医の手当を受ける。被災者が意識喪失の場合は何も口から与えてはならない。

5	火災時の措置	
	消火手段	: 周辺の火災に対し、適切な消火剤を使用する。
	火災時の特別対応手段	: 呼吸用保護具と保護衣を着用する。火災や過度の熱により危険な分解物質を生じることがある。
	有害燃焼物質	: なし(不燃性)(危険分解物質の項も参照)
	異常火災/爆発の危険性	: なし
6	漏出時の措置	
	多量の水で洗い流すか、不活性物質に吸収させ化学物質廃棄用の容器に回収する。漏洩箇所を十分拭き取る。	
7	取扱い及び保管上の注意	
	取扱い	: 眼に付着させない。長時間または繰り返し皮膚に付着させない。適度な換気を行う。取扱い後は、十分に手などを洗う。その他、毒劇法の定めるところに従う。
	火災や爆発の防止	: 通常使用では、特に必要なし。
	保管	: 密栓して保管する。その他、毒劇法の定めるところに従う。
8	暴露防止措置	
	許容濃度	: 未制定
	換気	: 換気の良い場所で取り扱う(10 air changes/時間)。換気速度は使用状態に合わせる。
	呼吸器系の保護	: 必要なし
	眼の保護	: 眼への付着を最小限にする。側板付き安全メガネまたはゴーグル保護メガネの着用。
	皮膚の保護	: 皮膚への付着を最小限にする。長時間または繰り返し付着するおそれがある場合は不浸透性の手袋を着用する。
	浄化する設備	: 洗眼、身体洗浄の設備(安全シャワー)
9	物理・化学特性	
	外 観	液 体
	色	無 色
	臭 気	無 臭
	比重(水 = 1)	1.46
	蒸気圧(20)	24 hPa (18 mmHg)
	蒸気密度(空気 = 1)	0.6
	揮発留分(重量)	50 ~ 55%
	沸 点	> 100
	水溶性	完 全
	pH	9.2
	引火点	なし (不燃性液体)
10	危険性情報(安定性・反応性)	

安定性 : 安定
 不適合物質 : なし
 危険分解物質 : 二酸化炭素、一酸化炭素、塩化水素
 危険重合物質 : 発生しない。

11 | 有害性情報(暴露の影響)

暴露の影響:

吸入 : 通常取扱いでは、危険性は少ないと予測される。
 眼 : 知見なし。一時的な炎症を起こすことがある。
 皮膚 : 通常取扱いでは、危険性は少ない。
 誤飲 : 危険性は少ないと予測される。

12 | 環境影響情報

この項は、輸送中の不慮の事故などにより発生した漏出時の対応について述べるもので、下水道などに排出するための情報ではありません。
 本製品の主要成分のデータに基づいて本製品の環境への影響を評価しますが、実際には試してはいません。
 水質系に流出した場合、BODはゼロで、酸素を破壊する可能性はまったくない。一部の水中生物への影響は小さい。二次廃棄物処理微生物代謝に影響を及ぼす可能性は低い。一部の植物の発芽や初期の成長に影響を及ぼす可能性は低い。生物分解処理はされにくい。多量の水で希釈すれば、直接間接的に自然環境に放たれても問題はないであろうと思われる。

13 | 廃棄時の注意

本製品を廃棄する場合は産業廃棄物に該当する。産業廃棄物処分業の免許を持った業者へ産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて依頼する。

廃棄物に該当する法規:

廃棄物処理法 : 産業廃棄物(廃アルカリ)
 水質汚濁防止法 : 生活環境項目
 下水道法 : 下水の排除の制限

14 | 輸送上の注意

航空輸送:

原液 : IATA 規則の規定による: Not regulated: 規制なし

Class : -----
 UN-No. : -----
 Proper Shipping Name : -----
 Subsidiary risk : -----
 Packing group : -----
 Passenger Aircraft : -----
 Cargo Aircraft Only : -----

15 | 適用法令

化学物質管理促進法 (PRTR 法) : -----

毒物劇物取締法(毒劇法) : -----
労働安全衛生法(安衛法) : -----
消防法危険物分類(消防法) : -----

16

その他

危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではないので、上記の内容は補足の情報と見なし、
取扱いには十分注意してください。